

10月1日

秋の風が肌に心地よく感じられる季節となりました。

子供達は、新型コロナ予防をしながら、校庭でのびのびと遊んだり、図書室で本を読んだりと学校での生活を楽しんでいる様子が見られます。

本日は、全校朝会を校内放送で行いました。私は以下のことを話しました。

今日は、校長先生から「温かな言葉のキャッチボール」について話します。最後までよく聞いてください。

早速、ここでクイズです。正門の前にいるリスは全部で何尾でしょうか。

正解は、4匹です。

実は、先週の金曜日いつものように正門で皆さんを迎えていた時のことです。何人かの子がそのリスの内の1匹を囲んで、「寒くてかわいそうだね」と傘を差してあげていました。校長先生は、その子達に感動し、心が温かくなりました。

「相手の気持ちを考えて行動する」そんなことが自然とできていたからです。

他にもあります。

先生方が校庭に落ちている落ち葉を拾っている姿をみて、「手伝いましょうか」と声をかけてくれた子供達もいました。

また、校長先生が校庭の雑草を抜いていたときに、それをも見かけた子供達が「校長先生ありがとうございました」と声をかけてくれました。校長先生は他にもいっぱい江戸小の子供達から温かい言葉をいただいています。江戸小の子供達は本当に優しい子達だと思いうれしくなります。

皆さんの身の回りには、皆さんのことを見守ってくださっている方がたくさんいらっしゃいます。その方達には校長先生の心が温かくなったような言葉を伝えていきますか。

10月からは、朝学習にも地域の方やお母さん方が皆さんの算数の○付けに来てくださいます。

「なにか子供達のためにやってあげたい」

「頑張っている子供達を応援したい」という方々ばかりです。

この方達は算数の時に来てくださいますが、皆さんはその方達にどう声をかけますか。一人一人考えてみてください。

みなさんだったら、きっと温かい言葉をかけてくれると思います。その言葉こそが、「またお手伝いしてあげよう」と思っていただけだと思います。

江戸小に、こうした温かな言葉のキャッチボールが続いていくといいなあ、と校長先生は思っています。

この後、「校長先生からの10月のおすすめの本」を紹介しました。

10月からは、部活動やクラブ活動、朝学習の学習サポート等、これまでできなかった活動も少しずつ取り組んで参ります。

今後も御支援・御協力の程、よろしくお願い致します。

流山市立江戸川台小学校 校長 上原 和浩